

中川 勲 議員（代表質問）

1 ほたるいか海上観光・富山湾岸クルージング観光について

- (1) 来シーズンのほたるいか海上観光の実施において、観光船キラリン号の運航目途はたったのか。
- (2) 今シーズンの富山湾岸クルージング観光の運航においても運航体制はできたのか。
- (3) 今回の観光船キラリン号に対するトラブルの原因と責任をはっきりさせるべきと思うが。

2 市民の安全安心に向けた取り組みについて

- (1) 8月29日早朝、北朝鮮が弾道ミサイルを発射し、日本列島上空を通過させ太平洋に落下した。また9月3日午後0時31分に核実験と思われる実験を行い、マグニチュード6.1と推測される地震波を観測したが、滑川市としてどう対応されたのか。
- (2) 弾道ミサイルが発射された8月29日午前6時02分に北海道から新潟県までの自治体では、全国瞬時警報システム「Jアラート」が作動したが、トラブルが多く発生したとのことであった。もし当市が該当地域であった場合、防災無線は大丈夫か確認されたか。
- (3) 市長・副市長の二人とも、姉妹都市シャンバーグに出張で不在の時期があったが、こうした有事があった場合は、どうするのか決めているのか。また、大規模災害に備え、市長不在時の職務代理者の順や業務の継続・早期復旧対応手順など定めた「業務継続計画BCP」の策定は進んでいるのか。
- (4) 近年、地球温暖化の影響によるものとも言われている、局地的な大雨が相次いでいる。当市でも山間部において、大雨による土砂崩れが発生し被害が出ているが、山間部だけでなく、市内全域にわたり調査する必要があるのではないか。

3 富山広域連携中枢都市圏形成について

- (1) 富山広域連携中枢都市圏とは、市民にわかりやすく説明するとすればどのような内容か。
- (2) 連携協約を富山市と締結するとあるがなぜか。また、他市との連携は考えられなかったのか。
- (3) 広域連携によって何がメリットなのか。

4 第4期安田工業団地造成工事について

- (1) 総合計画の基本構想スローガンに「ひと・まち・産業が元気なまち滑川」となっているなか、なぜ入札を市内企業だけで行えなかったのか。
- (2) 過去には、造成地を分割して行われていたと聞くが、今回はできなかったのか。

高木 悦子 議員（代表質問）

1 文化と中心市街地活性化の拠点整備を提言する

- (1) 中滑川駅前の農協会館跡地などの活用について、地域住民に行った要望調査の実施概要とその回答結果の集計は、どのようになったか。
- (2) 参加者の性別や年代に偏りなく、幅広い要望聴取ができたと考えるか。
- (3) 会派では、国の補助制度を活用した官民の複合施設という視点で1月に川越市を視察し、先月、岩手県紫波町の「オガール・プロジェクト」の視察をしてきた。PFI・PPPという手法もさることながら、公共施設と民間施設の複合型施設であることが、多くの市民ニーズに応える上で滑川市の参考になると考えた。農協会館等の跡地は、中心市街地の中では広大未利用地になるが、複合型の施設を置くということに対する滑川市の考えはどうか。
- (4) 紫波町では公共施設としての町役場、民間施設としてのホテルもあったが、中心となる官民複合施設の「オガールプラザ」は、図書館と音楽スタジオや多目的ホールというキーとなる公共施設と、スーパーマーケットの機能も備えた産直市場の他、レストランや居酒屋、医療機関など市民ニーズに応じた業種を選定した上で、テナント募集をして指定管理者が家賃収入を得ていた。住民要望を全て行政で応えるのではなく、テナントスペースに市民ニーズに応える業種を募集・誘致するという手法は有益であると考えているが、どうか。
- (5) 7,444㎡の土地を100%民間に開発を任せるというのでは、滑川市で土地取得をした意味がない。中心市街地活性化の拠点として整備をするには、統廃合して公共施設の整理もこの際考えるべきではないかと考える。体育施設が充実した一方で、滑川市には文化の拠点が無い。隣接地の市民健康センターも古くて、使い勝手が悪い。しかし限られた財源の中で、公共施設を安易に増やすべきではない。国からの交付金・補助金を得られる形で、文化の拠点、中心市街地活性化の拠点としての機能を持った、複合型公共施設をキーとして配置すべきと考えるがどうか。
- (6) 駅前再開発事業調査費を活用して、これまでにどのような研究・調査結果を得ているか。

- (7) 市の職員が視察先を選定するためには、目標とするまちづくりの理念がなければ、視察先の選定もできないと考える。また、駅前再開発事業調査費には、基本構想策定委託料も含まれているとのことだが、市当局におけるまちづくりの理念がなければ、基本構想もつukれないが、中滑川駅前周辺のまちづくりについての理念を問う。
- (8) 国の交付金を受けるには、「中心市街地活性化基本計画」の認定が不可欠となるが、この15年間滑川市では認定を受けていない。理念を持った基本計画を策定する意欲は、滑川市にあるか。

2 海洋深層水を活用して事業すべきは滑川市ではないのではないか

- (1) 海洋深層水天日塩製造の事業主体はどこか。平成29年度の収支見込み並びに今後の収支見込み計画はどうなっているか。
- (2) 滑川市職員の人件費や建物など設備の減価償却費や包装費など経費を全て加味して赤字にならない、天日塩1kg当たりの販売価額はいくらか。
- (3) 急速冷凍機プロトンの稼働状況と、冷凍したホタルイカの活用状況並びに、今期の収支見込みと今後の収支見込みはどうなっているか。
- (4) 2年後、国からの補助がなくなった時に、人件費や設備の維持費などの経費を全て加味して、赤字にならない、ホタルイカ1kg当たりの販売価額はいくらか。最盛期のホタルイカの価格と比較してどうか。
- (5) アクアポケットは黒字か。
- (6) タラソピアは黒字か。
- (7) 市職員の中に、利益を上げることを目的とした事業経営に携わった経験者はいるか。
- (8) 倉橋みどり准教授の研究室への500万円の、契約書に記載された委託業務の内容は何か。
- (9) 研究内容について、市内企業（農業者など事業者）からのリクエストに基づくものか。それとも素人考えで滑川市職員が提案したものか。

- (10) 倉橋先生への 28 年度決算で得られた研究成果は何か。
- (11) 滑川市にダイビングで年間 3,000 名の訪問者があるというが、何社が滑川市のダイビングを営業メニューとしているか。
- (12) 「殿様商売」という言葉を知っているか。
- (13) 久米島の例を挙げて「市が先を開いて民間の事業としておろしていく」と話していたが、市場調査も原価計算もできない行政が起業して、営利事業として成立すると思っているのか。
- (14) 深層水の活用例として話題になる入善町の牡蠣レストランは、入善町（あるいは第三セクター）の事業か。
- (15) 滑川の海洋深層水を事業として活用している企業は、どれくらいあるか。
- (16) それら企業の製品に、どれだけ「滑川の海洋深層水」としっかり明示されているものがあるか。
- (17) 今の滑川市は、行政としてすべきことと、民間に委ねること、あるいは民間を喚起（支援）して実施すべきことの見極めができていないのではないか。

3 「愛市購買」を妨害しているのは誰か

- (1) 毎年議会が行っている決算審査において「今後改善を求める事項」で、「愛市購買の観点から、全庁及び関係機関の各種物品等の購入及び工事等の発注にあたっては、地元業者を最優先されたい」と言い続けていることについて、どう考えるか。
- (2) そもそも「愛市購買」の目的は何だと考えているか。
- (3) 入札参加資格申請を提出している企業の中で、「滑川市公告財第 19 号」に掲げる入札参加条件を満たす企業は、何社あるのか。
- (4) 19 号が公告された翌日に、「滑川市公告財第 20 号」が示され、入札条件の変更が行われたが、その理由は何か。

- (5) 佐藤工業が落札をしたが、変更される前の入札参加条件の場合に、佐藤工業は入札できたか。
- (6) 佐藤工業の落札率は 87.1%で、低入札の調査対象となったが、低入札の失格基準価額と照らしてどのような内容だったのか。
- (7) 「滑川市公告財 21 号」の入札参加資格の「代表構成員」となれる市内企業は、何社あるのか。
- (8) 代表構成員の「地域条件」で仮に「主たる営業所」とした場合に、1,000 点以上の入札参加資格申請をしている県内企業は何社あるのか。
- (9) 「主たる営業所」ではなく「営業所」とした理由は何か。
- (10) 安田工業団地造成工事は、過去の第 1～3 期工事までは、どのような入札参加資格条件としてきたか。
- (11) 過去の入札条件と第 4 期工事の入札条件が大きく見直された要因は何か。
- (12) 上田市長になってから、予定価格算定においていわゆる「歩切り」はしていないということで間違いないか。
- (13) 第 4 期工事の 96.5%という落札率をどう考えているか。
- (14) 公告後たった 1 日で変更を行った「公告財第 20 号」と、過去の入札条件を大幅に変更を行った「公告財第 21 号」で、同じ業者が落札したことは、全くの偶然なのか。
- (15) 議会も市長も勧める「愛市購買」を妨害する入札参加条件を指示したのは誰なのか。

古沢 利之 議員（代表質問）

1 核兵器禁止条約について

- (1) 本年7月、国連会議で加盟国193カ国中、122カ国が賛成して「核兵器禁止条約」が採択された。「日本非核宣言自治体協議会」に参加する市長として、「条約」への評価を問う。
- (2) 日本政府はこの会議に参加しなかった。この態度を改め、「条約」に署名、批准することを求めるべきではないか。

2 放課後児童健全育成事業について

- (1) 支援員の処遇改善について
 - ア 時給の見直し
 - イ 各種保険への加入 厚労省の児童クラブ運営指針には「労働環境の整備」について規定している。
- (2) 「利用にかかる基準」の運用について
求職、出産などは、保護者の意見、状況をよく聞き適切な対応を。

3 学校給食費の無償化、または助成について

- ・ 子育て支援の観点から、学校給食費への助成、無償化に取り組む自治体が増えている。検討されたい。

4 国保の県域化について

- (1) 8月末、地元新聞で県域化によって保険税の上昇を予想しているところは、6市村との報道があった。一般会計からの繰入による抑制、引き下げを考えるべきである。
- (2) 同記事に、移管への「懸念」が紹介されていたが、本市ではどのような「懸念」を持っているか。どう対応しようとするのか。

谷川 伸治 議員（一般質問）

1 姉妹都市シャンバーグ市との国際交流事業について

- (1) 今回、中学生20名が2泊3日のホームステイや公共施設の視察、スギノコープの会社見学などを通して、日本では経験できない貴重な体験をしたと思う。今回の中学生の派遣事業を総括し、中学生にどのような成果を期待しているか。
- (2) 今回の中学生の派遣事業の成果を踏まえて、今後、シャンバーグ市へ3年ごとに派遣する継続事業とする考えはないか。

2 外国語（英語）の指導者について

- (1) 現在中学校と小学校計9校に対して、ALT3名、英語活動支援員4名で指導しているが、指導者は十分と考えているか。
- (2) 2020年より外国語（英語）授業が小学校3年生から実施されるが、ALT・英語活動支援員の指導者をどのように考えているのか。特に小学校の教諭への負担が増えないようにするため、指導者の増員を検討すべきではないか。

原 明 議員（一般質問）

1 松くい虫被害対策について

- (1) 海岸部での松への樹幹注入や伐倒処理実施後も海浜公園での松枯れが発生しているが対策は。
- (2) 海岸保安林の維持管理と整備の状況について

2 有害鳥獣被害防止対策について

- (1) イノシシによる農地への被害状況、捕獲状況と対策について
- (2) 捕獲や生息場所など上市町、魚津市との情報交換や連携が重要であると思うが。

3 地場産野菜の学校給食への使用状況について

- (1) 地場産野菜の使用状況と使用率について
- (2) 小中学校における学校田の活用と給食の食材としての利用状況について
- (3) 実のなる樹木の植栽事業について

4 観光の振興について

- (1) 観光行政推進事業として、飲食店マップの更新や観光パンフレット「ぐると滑川」の更新状況について
- (2) 観光客誘致事業として、キラリンの乗場案内看板の設置やパンフレットの作成とあるが、実施状況は。
- (3) 滑川市を訪れた観光客の推移と観光客誘致に向けた取り組み状況について

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 観光について

- (1) キラリン号の富山湾岸クルージングができなかったが、この夏ほたるいかミュージアムの入館数の影響はどうだったか。
- (2) 女子アナウンサーをレポーターとして市内各所を訪問し、体験していただきその様子を発信する事業は、どうなっているのか。
- (3) 観光協会が、あいの風とやま鉄道滑川駅に入って、市の観光の要として発信するのが、来滑者にわかりやすいのではないか。

2 姉妹都市訪問について

- (1) シャンバーグ市訪問について、その成果とこれからの考え方について
- (2) 反省点はあるか。
- (3) 派遣された団員の皆さんからの感想は。

3 新規採用職員について

- (1) 今年の応募者は何人なのか。
- (2) 最終合格までどんな経過になっているのか。
- (3) 面接は何人で行うのか。
- (4) 今年はどんな方針で面接に臨んだのか。

4 社会整備について

- ・ 早月川を境にして魚津市側と滑川市側に違いがある。
 - ア 早月川の雑木・雑草は滑川側に集中している。
 - イ 県道135号線の歩道の雑草が滑川側が伸び放題である。

- ウ 県道魚津上市線の路肩の整備が滑川側が遅れている。
- エ 海岸線の整備が遅れている。
- オ 早月川左岸堤防のえぐれ
- カ 旧月形橋橋脚基礎部の保護

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 滑川蒲鉾用地等取得について

- (1) 建築物の耐震診断について
- (2) 建築物のアスベスト調査について
- (3) 6月定例会において全議員で修正可決された議案を、ほとんど同じ内容で再提出することについて

2 中滑川駅周辺の再開発について

- (1) まちづくり座談会について
- (2) 協議会について

3 子どもの健康について

- (1) 市内の小中学生の虫歯の現状と対策について
- (2) 口腔崩壊について

4 人件費について

- ・ 自治体で働く一般職の非常勤職員への常勤職並みの期末手当支給について

5 ふるさと納税について

- (1) 返礼品について
- (2) 使い道について

6 防災について

- (1) 市内の小中学校の防災トイレの整備状況について
- (2) 今後の取り組みについて

竹原 正人 議員（一般質問）

1 シャンバーグ市との今後の姉妹都市交流について

- (1) 今回の交流事業についての事業評価をどう考えているのか。
- (2) 今後の交流のあり方について、市としてどのように考えているのか。
- (3) 今回は市が主体となつての海外派遣事業であったが、姉妹都市委員会などの任意団体をつくっていくことも必要であると考え、見解は。
- (4) 今後、通年事業として姉妹都市交流をするには、多額の予算が必要になってくる。対応をどう考えているのか。

2 屋内運動場の運用について

- (1) 条例の設置目的に市民の健康増進・地域の活性化とあるが、具体的な思いは。
- (2) 使用料の減免について、市内のスポーツ少年団と市立中学校の部活動団体となっているが、滑川市体育協会所属の各スポーツ単位協会が行う、小中学校向けプログラムに対しての配慮は。
- (3) 平日の利用を促進するための対応は。
- (4) 本年度中は市直営で運営をし、来年度から指定管理で外部委託すると聞いたが、しっかり対応できるのか。
- (5) スポーツコンベンションの誘致や対応は、スポーツ課で行うべきと考えるが、見解は。

水野 達夫 議員（一般質問）

1 海洋深層水の今後の利活用研究について

- (1) 昨年度（平成 28 年度）の予算書と決算書を見比べると、予算書には深層水調査研究委託費として、2,000 千円が計上されている。決算書には数字が上がっていないのはなぜか。
- (2) 今年度（平成 29 年度）当初予算として 5,350 千円の深層水活用調査研究費が計上されている。これまでの研究内容はどうか、また、研究成果はどのような形で、いつ出てくるのか。
- (3) 8 月 28 日の産業建設委員会協議会で示された「滑川蒲鉾跡地利用計画」によれば、深層水利活用研究として、水産業への利用研究や微細藻類の培養等が記載されている。滑川蒲鉾の建物を利用し、どのような方法でそれらの研究を進めるのか。
- (4) そもそも「滑川市海洋深層水利活用基本計画」に示されているように、滑川市が使える日量 1,000 トンの利活用を考えるべきだと思う。基本計画に明記された配水フローによる海藻養殖施設や農業施設、工業団地計画に対する現時点での市の見解はどうか。
- (5) 深層水利活用の研究にどうしても滑川蒲鉾の用地及び建物が必要なのか。水産利用等の研究は、富山県水産研究所との連携が必要だと思うがどうか。

2 タラソピアの現状及び今後の方向性について

- (1) 8 月 9 日に開催されたタラソピア愛好会との意見交換会の状況はどうだったのか。
- (2) 平成 28 年 10 月に策定された「滑川市公共施設等総合管理計画」のタラソピアの具体的な方針に、「施設のあり方について 3 年を目途に方針を決定する。」と明記されている。「3 年を目途に」の期限はいつなのか。
- (3) これまでのタラソピアへの来客数及び総売上高、市からの委託事業収入等の推移並びに介護予防事業の実施状況はどうか。

- (4) 来年10月で20年を迎えるタラソピアの機械類の現状をどのように捉えているのか。
- (5) 昨年10月18日に「アクアスやいづ」を視察した折、今後の課題として最初に挙げられたのが、「施設の故障や修繕箇所の増加」である。タラソピアは、将来的に持続可能な施設なのか。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 乳がん検診について

- (1) 検査項目はどのようになっているか。
- (2) 新聞では、マンモグラフィーや超音波を使った検査もあるが、課題があることも説明するとある。どのような課題か。
- (3) 今後「高濃度乳房」と判定された場合、受診者への通知は、どのような手法を行うか。早急に体制を整えてもらいたい。

2 防災について

- (1) 避難所となる学校の断水時のトイレ水の確保は、どのようになっているか。公共施設でも断水時対応はなされているか。
- (2) 滑川市の学校で、災害時に対応するため、電力の確保、飲料水確保、備蓄、通信設備の保有は、それぞれ何%か。
- (3) 避難所間の通信網をどのように構築する予定か。
- (4) 現時点で、各校下の避難者をどれだけ収容できる予定か。
- (5) 幼稚園や保育園を避難所に指定すればどうか。(女性や子どもたち対応のため)

3 滑川運動公園について

- (1) 童和保育園側のトイレは改修するのか、しないのか。
- (2) 植樹祭のための公園は、この後どのように管理する予定か。
- (3) 植樹のための山が崩れている。早急に直すべきでは。
- (4) 公園東側の未整備の土地はどのような計画か。何年までに何を計画しているか。(パークゴルフ場を2ホール整備する予定はどうか。)

4 子ども対応について

- ・ ほたるいかミュージアムの入館料を市内の子どもたち（保育園児、幼稚園児、認定こども園児、小学生）は無料にして、ふるさと教育の一環にしてはどうか。

5 まちづくりについて

- ・ 新幹線から見える滑川市のPR看板設置の進捗状況は。

6 児童虐待の状況は

- ・ 富山県の状況が大変悪いとの報道があるが、滑川市の状況は。（相談や通報などの件数は。）

青山 幸生 議員（一般質問）

1 特定外来生物について

- (1) オオカワヂシャ被害の状況はどうか。また近隣での被害は、把握しているか。
- (2) 水稻への影響は把握しているか。
- (3) 今後、さまざまな特定外来生物が発生した場合、どう対処するのか。

2 都市の将来像について

- (1) 環境配慮型産業振興地区に指定されている第4期安田工業団地造成工事は、すでに企業からの引き合いはあるか。また滑川市の中小業者に対してJV等を組んで発注することはできなかったか。
- (2) 住環境創出地区は本当に創出できるのか。また上下水道の設備以外に選定した理由はあるか。
- (3) 土地利用誘導地区は本当に誘導できるか。まちづくり課・農林課の見解と整合性はどうか。
- (4) 田園地区は今後維持できるか。担い手不足の市の見解は。

3 観光振興について

- (1) ほたるいかミュージアムにキラリンのグッズを置かないのは、なぜか。
- (2) 平成28年9月定例会では、キラリン絵本の販売について伺った。3年間のうちに検討したいとの答弁であったが、1年経って何か検討したか。また(1)のように、ほたるいかミュージアムで販売はどうか。

4 滑川蒲鉾取得について

- (1) 6月定例会で修正をしてから、滑川蒲鉾側と再度価格交渉は行ったか。

- (2) 6月定例会で修正をしてから3カ月経ったが、企画や基本構想などほどの程度練ってあるか。

角川 真人 議員（一般質問）

1 子育て支援について

- ・ 医療費助成を高校生まで拡充できないか。

2 空き地・空き家について

- (1) 市へ寄付された空き家を除却した跡地の管理は、どうなっているか。
- (2) 各町内で老朽空き家が除却されているが、その跡地の利用・管理について市としての取り組みは。
- (3) 空き家を活用して若者向けにシェアハウスを行ってはどうか。

3 買い物支援について

- ・ 買い物難民対策として業者等へ協力を募り、移動販売車の検討をしてはどうか。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 東加積小学校児童数の減少について

- (1) 学校運営、教育上の観点から、今後の東加積小学校について
- (2) 複式学級を回避するための施策について（小規模特認校指定、市採教員の配置）

2 有害鳥獣被害防止対策について

- (1) 有害鳥獣（イノシシ、サル）の出没状況、捕獲状況と被害状況等について
- (2) 有害鳥獣将来予想の認識について
- (3) 被害防止対策について（捕獲実施隊の育成強化、捕獲檻の増設・設置、進入路等のグレーチング敷設、侵入防止柵等に係る資材補助の拡大と維持管理の資材支給）

3 みのお温泉テニス村・東福寺野自然公園研修センター「青雲閣」の利活用計画について

- (1) みのお温泉テニス村、東福寺野自然公園研修センター「青雲閣」の利用状況並びに今後の見通しについて
- (2) みのお温泉テニス村の長寿命化の計画、東福寺野自然公園研修センター「青雲閣」の総合的に勘案された計画の進捗について
- (3) それぞれの施設の検討、計画立案に対して、人、組織、調査、分析、議論等々今後のプロセスについて

4 遊覧船キラリンの運航について

- (1) 今年遊覧船キラリンが運航できなかった理由並びに、キラリンの現状について

- (2) 今後の対応並びに見通しの諸点について
 - ア 船舶検査証書の取得
 - イ 運航ルートを選定・届出
 - ウ 信頼できる運航業者を選定・契約
 - エ 信頼できる船長・甲板員の確保
 - オ 運用・管理の実施と責任の所在
 - カ 適正な法的処置
 - キ 安全の確保と責任の所在

- (3) 今年度事業のクルージングの実施の見通し、並びに来年のほたるいか海上観光の実施の見通しについて